

令和 7 年度「行きたい学校づくり」推進事業 探究学習推進 連携校計画書報告書  
 【沼駿地区】（拠点校：県立沼津西高等学校）

<令和 7 年度 拠点校総括>

本計画のねらい	成果報告
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 探究的な学習手法の沼駿地区全校での実践による主体的に学ぶ力の育成</li> <li>• 探究に係る地域資源の有効活用</li> <li>• 探究学習によって地域貢献できる人材を育成し、地域活性化に寄与</li> <li>• 大学入試（総合型選抜等）への対応</li> </ul>	

<令和 7 年度 連携校実施計画（報告）>

学校名	取組（計画）	成果（報告）
御殿場	<p>3 年次後半に総括的な探究活動として、アントレプレナーシップ教育を行う。3 学科の生徒がグループを組み、協働しながら地域課題の解決に資するビジネスプランを構築する。福岡に拠点を置く起業支援企業ボーダレスジャパンや御殿場市役所の支援を得る。11 月に中間発表、1 月に成果発表を行う。</p>	
御殿場南	<p>本校の第 1 学年を対象とした「プレゼンテーション向上ワークショップ」を令和 7 年 12 月 4 日（木）に開催する。プレゼンテーション力向上を目的に、講師としてよしもと芸人を招聘し、漫才を通して聞き手を楽しませて引き付ける「笑い」の効果的な活用方法を知り、人とのコミュニケーションの楽しさや重要性、人に届くプレゼンテーションのコツをワークショップ形式で学ぶ。</p>	

小山	グループごとに SDGs における 17 の目標をもとにテーマを設定し、持続可能な開発目標が現在の社会の中でいかに重要であるか、また未来に生きる人々にとってどれ程必要なことであるか自ら考え、また観客にも伝わるような演劇（30 分～40 分程度）を行う。この取組により、「前に踏み出す力」「チームで活動する力」「考え抜く力」の育成を図る。（2 年目）	
裾野	<p>・企業等の外部団体等を招いて、裾高 CUP（産業社会と人間・総合的な探究の時間の発表会）を実施する。（各学年代表者）</p> <p>また、一般の方の来場を許可し、広く裾野高校の探究活動等について広報をする。</p>	
沼津東	教職員が生成 AI の使い方を研修することで、総合的な探究の時間（揺籃）における「沼東ゼミ」へのファシリテート時や志望理由書や小論文対策など、様々な場面での活用を図る。連携校に案内し、参加できる仕立てにする。	
沼津城北	2 年生の「総合的な探究の時間」でのグループテーマ探究で、リサーチクエスチョン作成時とその後のグループワークの伴走指導に複数回外部講師を招き、アドバイスを頂き充実させる。また、1・3 年生の「総合的な探究の時間」学年発表会で外部講師を招き、講評をして頂く。	
沼津工業	<p>○ エモーショナル・ウェルビーイングを実現する製作活動 ～3Dプリンターを活用した創造する楽しさの体験支援～ （電子ロボット科）</p> <p>三島市内の事業所と共同開催する「ものづくり教室」において、本校生徒が児童生徒に3Dプリンター等の体験の支援を行う。より良い支援のための方策を探究する中で、ロボットを活用し、情報を</p>	

	<p>循環活用することのできる、未来を支える人材の育成を目指す。</p> <p>○ 卒業設計製作のまとめとしての「透視図」の作成（建築科）</p> <p>3年間の専門学習と探究活動の集大成として取り組む卒業設計製作において、各々の探究活動を要約し、イメージとして人々に伝えるための「透視図」を製作する。よりよく自らの設計意図を伝える力を育むため、パースの専門家を招き、講演と特別授業を行う。</p>	
沼津商業	<p>1年次の総合的な探究の時間及び2、3年次の課題研究において、地域課題を探究する活動等に取り組み、産業界及び地域社会を担う有為な人材の育成を目指す。</p>	

#### <記載について>

- ・連携校1校につき1行使用する。
- ・予算を執行した取組について記載する。
- ・拠点校総括欄（成果報告欄）には連携校の予算執行を通して、地区全体としてどのような効果があったかに留意し、記載する。